

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】平成24年2月9日 (2012.2.9)

【公開番号】特開2010-157934(P2010-157934A)
 【公開日】平成22年7月15日 (2010.7.15)
 【年通号数】公開・登録公報2010-028
 【出願番号】特願2008-335552(P2008-335552)
 【国際特許分類】

H 0 4 N 1/32 (2006.01)

H 0 4 N 1/00 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 1/32 J

H 0 4 N 1/00 C

【手続補正書】
 【提出日】平成23年12月15日 (2011.12.15)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

原稿を読み取る読取手段を備えるファクシミリ送信可能な画像形成装置であって、
ファクシミリ送信する送信先情報を設定する情報設定手段と、
前記送信先情報に前記イメージデータをファクシミリ送信する承認を得るべく、前記読
取手段で読み取られたファクシミリ送信する原稿のイメージデータと前記送信先情報と当
該イメージデータを特定するための特定情報を含む送信データを記憶手段に記憶させる記
憶制御手段と、

前記記憶手段に記憶させたイメージデータのファクシミリ送信の承認に用いられる、前
記イメージデータを特定するための特定情報を含む文書を印刷する印刷手段と、

前記文書を印刷したユーザにより登録された、前記文書を印刷したユーザと異なるユー
ザの操作に応じて前記文書を前記読取手段で読み取らせ、当該文書を読み取ることで得ら
れる特定情報に対応するイメージデータを取得するイメージデータ取得手段と、

前記イメージデータ取得手段で取得したイメージデータを、前記送信先情報に従ってフ
ァクシミリ送信する送信手段と
 を備えることを特徴とする画像形成装置。

【請求項 2】

前記情報設定手段は、有効期限を設定し、

前記送信データ、有効期限を含み、

前記読取手段による前記文書の読み取りに従って、当該文書に含まれる特定情報に対応
する送信データの有効期限が切れているか否かを判定する有効期限判定手段とを更に備え
、

前記送信手段は、前記有効期限判定手段で有効期限が切れていると判定された場合には
、前記文書に含まれる特定情報に対応するイメージデータを送信せず、前記有効期限判定
手段で有効期限が切れていないと判定された場合には、前記文書に含まれる特定情報に対
応するイメージデータを送信すること

を特徴とする特徴とする請求項 1 の画像形成装置。

【請求項 3】

前記送信データは、当該画像形成装置にログインしたユーザのユーザ識別情報を含み、前記有効期限判定手段で有効期限が切れていると判定される場合、前記文書を印刷したユーザから確認を得るべく、ユーザ識別情報の入力を受け付ける受付手段を更に備えることを特徴とする請求項2に記載の画像形成装置。

【請求項4】

前記送信手段は、前記受付手段で前記文書を印刷したユーザのユーザ識別情報を受け付けた場合、前記有効期限判定手段で有効期限が切れていると判定された送信データのイメージデータを前記送信先情報に従って送信することを特徴とする請求項3に記載の画像形成装置。

【請求項5】

前記ユーザ識別情報は、ユーザによって記憶媒体が記憶媒体読取手段で読み取られることによって得られたユーザ識別情報であることを特徴とする請求項3又は4に記載の画像形成装置。

【請求項6】

当該画像形成装置にログインしたユーザが、前記記憶手段に記憶されているイメージデータを送信する権限を有するユーザか否かを判定する権限判定手段と、

前記権限判定手段で送信する権限を有するユーザであると判定された場合には、前記記憶手段に記憶されているイメージデータを特定するための特定情報を含む送信データの一覧を取得する一覧取得手段と、

前記文書を前記読取手段で読み取ることで得られる特定情報と、前記一覧取得手段で取得した送信データに含まれる特定情報と一致するか否かを判定する特定情報判定手段と、

前記送信手段は、前記特定情報判定手段で一致すると判定された特定情報に対応するイメージデータを前記送信先情報に従って送信することを特徴とする請求項1乃至5のいずれか1項に記載の画像形成装置。

【請求項7】

前記権限判定手段で送信する権限を有するユーザでないと判定された場合には、前記情報設定手段でファクシミリ送信する送信先情報を設定させ、前記送信先情報に前記イメージデータをファクシミリ送信する承認を得るべく、前記読取手段で読み取られたファクシミリ送信する原稿のイメージデータと前記送信先情報と当該イメージデータを特定するための特定情報を含む送信データを記憶手段に記憶させ、当該イメージデータを特定するための特定情報を含む文書を印刷させることを特徴とする請求項6に記載の画像形成装置。

【請求項8】

前記記憶手段は、前記送信データを記憶するサーバであることを特徴とする請求項1乃至7のいずれか1項に記載の画像形成装置。

【請求項9】

原稿を読み取る読取手段を備えるファクシミリ送信可能な画像形成装置における処理方法であって、

前記画像形成装置が、

ファクシミリ送信する送信先情報を設定する情報設定ステップと、

前記送信先情報に前記イメージデータをファクシミリ送信する承認を得るべく、前記読取手段で読み取られたファクシミリ送信する原稿のイメージデータと前記送信先情報と当該イメージデータを特定するための特定情報を含む送信データを記憶手段に記憶させる記憶制御ステップと、

前記記憶手段に記憶させたイメージデータのファクシミリ送信の承認に用いられる、前記イメージデータを特定するための特定情報を含む文書を印刷する印刷ステップと、

前記文書を印刷したユーザにより登録された、前記文書を印刷したユーザと異なるユーザの操作に応じて前記文書を前記読取手段で読み取らせ、当該文書を読み取ることで得られる特定情報に対応するイメージデータを取得するイメージデータ取得ステップと、

前記イメージデータ取得ステップで取得したイメージデータを、前記送信先情報に従ってファクシミリ送信する送信ステップ

とを実行することを特徴とする処理方法。

【請求項 10】

原稿を読み取る読取手段を備えるファクシミリ送信可能な画像形成装置のプログラムであって、

前記画像形成装置を、

ファクシミリ送信する送信先情報を設定する情報設定手段と、

前記送信先情報に前記イメージデータをファクシミリ送信する承認を得るべく、前記読取手段で読み取られたファクシミリ送信する原稿のイメージデータと前記送信先情報と当該イメージデータを特定するための特定情報を含む送信データを記憶手段に記憶させる記憶制御手段と、

前記記憶手段に記憶させたイメージデータのファクシミリ送信の承認に用いられる、前記イメージデータを特定するための特定情報を含む文書を印刷する印刷手段と、

前記文書を印刷したユーザにより登録された、前記文書を印刷したユーザと異なるユーザの操作に応じて前記文書を前記読取手段で読み取らせ、当該文書を読み取ることで得られる特定情報に対応するイメージデータを取得するイメージデータ取得手段と、

前記イメージデータ取得手段で取得したイメージデータを、前記送信先情報に従ってファクシミリ送信する送信手段

として機能させることを特徴とするプログラム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0003

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0003】

そして、データ通信システムにファクシミリ番号を入力する方式として、データ通信システムにファクシミリ番号が記入されたカバーシートを読み取らせてファクシミリ番号を認識させる方式が知られている（例えば、特許文献1参照。）。

【特許文献1】特開平5-207256号公報

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

そこで、本発明の目的は、読取手段で読み取られたファクシミリ送信する原稿のイメージデータを記憶手段に記憶させ、当該イメージデータのファクシミリ送信の承認に用いられる文書を印刷させ、文書を印刷したユーザと異なるユーザの操作に応じて印刷した文書を読み取らせてファクシミリ送信させることで、ファクシミリ送信の誤送信を防止するための確認と送信を容易に行うことができる仕組みを提供する。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

前述した目的を達成するための第1の発明は、原稿を読み取る読取手段を備えるファクシミリ送信可能な画像形成装置であって、ファクシミリ送信する送信先情報を設定する情報設定手段と、前記送信先情報に前記イメージデータをファクシミリ送信する承認を得るべく、前記読取手段で読み取られたファクシミリ送信する原稿のイメージデータと前記送信先情報と当該イメージデータを特定するための特定情報を含む送信データを記憶手段

に記憶させる記憶制御手段と、前記記憶手段に記憶させたイメージデータのファクシミリ送信の承認に用いられる、前記イメージデータを特定するための特定情報を含む文書を印刷する印刷手段と、前記文書を印刷したユーザにより登録された、前記文書を印刷したユーザと異なるユーザの操作に応じて前記文書を前記読取手段で読み取らせ、当該文書を読み取ることによって得られる特定情報に対応するイメージデータを取得するイメージデータ取得手段と、前記イメージデータ取得手段で取得したイメージデータを、前記送信先情報に従ってファクシミリ送信する送信手段とを備えることを特徴とする画像形成装置である。

【手続補正５】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１２

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１２】

また、前記情報設定手段は、有効期限を設定し、前記送信データ、有効期限を含み、前記読取手段による前記文書の読み取りに従って、当該文書に含まれる特定情報に対応する送信データの有効期限が切れているか否かを判定する有効期限判定手段とを更に備え、前記送信手段は、前記有効期限判定手段で有効期限が切れていると判定された場合には、前記文書に含まれる特定情報に対応するイメージデータを送信せず、前記有効期限判定手段で有効期限が切れていないと判定された場合には、前記文書に含まれる特定情報に対応するイメージデータを送信することを特徴とする特徴とする画像形成装置である。

【手続補正６】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１３

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１３】

また、前記送信データは、当該画像形成装置にログインしたユーザのユーザ識別情報を含み、前記有効期限判定手段で有効期限が切れていると判定される場合、前記文書を印刷したユーザから確認を得るべく、ユーザ識別情報の入力を受け付ける受付手段を更に備えることを特徴とする画像形成装置である。

【手続補正７】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１４

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１４】

また、前記送信手段は、前記受付手段で前記文書を印刷したユーザのユーザ識別情報を受け付けた場合、前記有効期限判定手段で有効期限が切れていると判定された送信データのイメージデータを前記送信先情報に従って送信することを特徴とする画像形成装置である。

【手続補正８】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１５

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１５】

また、前記ユーザ識別情報は、ユーザによって記憶媒体が記憶媒体読取手段で読み取られることによって得られたユーザ識別情報であることを特徴とする画像形成装置である。

【手続補正９】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0016

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【0016】

また、当該画像形成装置にログインしたユーザが、前記記憶手段に記憶されているイメージデータを送信する権限を有するユーザか否かを判定する権限判定手段と、前記権限判定手段で送信する権限を有するユーザであると判定された場合には、前記記憶手段に記憶されているイメージデータを特定するための特定情報を含む送信データの一覧を取得する一覧取得手段と、前記文書を前記読取手段で読み取ることで得られる特定情報と、前記一覧取得手段で取得した送信データに含まれる特定情報と一致するか否かを判定する特定情報判定手段と、前記送信手段は、前記特定情報判定手段で一致すると判定された特定情報に対応するイメージデータを前記送信先情報に従って送信することを特徴とする画像形成装置である。

【手続補正10】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0017

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【0017】

また、前記記憶手段は、前記送信データを記憶するサーバであることを特徴とする画像形成装置である。

【手続補正11】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0018

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【0018】

また、前記権限判定手段で送信する権限を有するユーザでないと判定された場合には、前記情報設定手段でファクシミリ送信する送信先情報を設定させ、前記送信先情報に前記イメージデータをファクシミリ送信する承認を得るべく、前記読取手段で読み取られたファクシミリ送信する原稿のイメージデータと前記送信先情報と当該イメージデータを特定するための特定情報を含む送信データを記憶手段に記憶させ、当該イメージデータを特定するための特定情報を含む文書を印刷させることを特徴とする画像形成装置である。

【手続補正12】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0019

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【0019】

第2の発明は、原稿を読み取る読取手段を備えるファクシミリ送信可能な画像形成装置における処理方法であって、前記画像形成装置が、ファクシミリ送信する送信先情報を設定する情報設定ステップと、前記送信先情報に前記イメージデータをファクシミリ送信する承認を得るべく、前記読取手段で読み取られたファクシミリ送信する原稿のイメージデータと前記送信先情報と当該イメージデータを特定するための特定情報を含む送信データを記憶手段に記憶させる記憶制御ステップと、前記記憶手段に記憶させたイメージデータのファクシミリ送信の承認に用いられる、前記イメージデータを特定するための特定情報を含む文書を印刷する印刷ステップと、前記文書を印刷したユーザにより登録された、前記文書を印刷したユーザと異なるユーザの操作に応じて前記文書を前記読取手段で読み取らせ、当該文書を読み取ることで得られる特定情報に対応するイメージデータを取得するイメージデータ取得ステップと、前記イメージデータ取得ステップで取得したイメージデ

ータを、前記送信先情報に従ってファクシミリ送信する送信ステップとを実行することを特徴とする処理方法である。

【手続補正 1 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 0】

第3の発明は、原稿を読み取る読取手段を備えるファクシミリ送信可能な画像形成装置のプログラムであって、前記画像形成装置を、ファクシミリ送信する送信先情報を設定する情報設定手段と、前記送信先情報に前記イメージデータをファクシミリ送信する承認を得るべく、前記読取手段で読み取られたファクシミリ送信する原稿のイメージデータと前記送信先情報と当該イメージデータを特定するための特定情報を含む送信データを記憶手段に記憶させる記憶制御手段と、前記記憶手段に記憶させたイメージデータのファクシミリ送信の承認に用いられる、前記イメージデータを特定するための特定情報を含む文書を印刷する印刷手段と、前記文書を印刷したユーザにより登録された、前記文書を印刷したユーザと異なるユーザの操作に応じて前記文書を前記読取手段で読み取らせ、当該文書を読み取ることで得られる特定情報に対応するイメージデータを取得するイメージデータ取得手段と、前記イメージデータ取得手段で取得したイメージデータを、前記送信先情報に従ってファクシミリ送信する送信手段として機能させることを特徴とするプログラムである。

【手続補正 1 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 1】

本発明によれば、読取手段で読み取られたファクシミリ送信する原稿のイメージデータを記憶手段に記憶させ、当該イメージデータのファクシミリ送信の承認に用いられる文書を印刷させ、文書を印刷したユーザと異なるユーザの操作に応じて印刷した文書を読み取らせてファクシミリ送信させることで、ファクシミリ送信の誤送信を防止するための確認と送信を容易に行うことができる。